



第21回 環境やまがた大賞

～募集のお知らせ・推薦のお願い～

山形県では、持続的な発展が可能な豊かで美しい山形県の構築を目指し、県民、事業者及び行政が相互に協力しあい、環境の保全及び創造に関する取組みを進めるため、平成11年に「山形県環境基本条例」を制定しました。

その目標実現に向けて、環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会づくりに自主的・主体的に取り組む活動の促進と県民意識の醸成を図ることを目的として、地球環境や地域環境に関する活動において、功績のあった個人又は団体（グループ、NPO、学校など）を顕彰する「環境やまがた大賞」事業を実施しています。

このたび、下記募集要項により、第21回「環境やまがた大賞」候補者を募集しますので、皆様の積極的な御応募（御推薦）をお願いいたします。

【第21回「環境やまがた大賞」候補者募集要項】

【応募（推薦）対象者】

- 県内に居住する個人又は県内に主たる活動の拠点を有する団体（企業は除く）が対象です。
→企業を対象とした別の表彰制度があります。次ページの「よくあるご質問」Q1を参照ください。
- 個人の場合には他薦に限り、団体の場合には自薦・他薦を問いません。

【応募（推薦）基準】

- 地球環境又は地域環境の保全及び創造[※]に関する普及啓発、実践活動等を行っているものであること。
※「環境の創造」…住みよい地域社会の形成に向けて、現在ある環境に対して人為により、よりよい環境を創りだすこと。（例：都市部やその周辺地域における緑化の推進、野生動物の生息空間（ビオトープ）の確保、人と自然が親しむ空間としての親水公園の整備 等）
- 他の模範となり、推奨できるものであること。
- 対象活動を行った期間が、個人にあってはおおむね5年間以上、団体にあってはおおむね3年間以上であること。（ただし、学校又は子どもが中心となって活動を行う団体については、これより短い期間でも推薦いただくことは可能です。）
- 同一の功績について、大臣表彰又は知事表彰を受けていないこと。（ただし、学校又は子どもが中心となって活動を行う団体については、直近の表彰から5年以上経過している場合は、推薦できます。）→次ページの「よくあるご質問」Q5を参照ください。
- 団体に所属して対象活動を行う個人は、個人の顕彰の対象としない。

【応募（推薦）方法】

- 応募は、別紙「環境やまがた大賞」推薦調書の提出によります。推薦調書の様式は、山形県ホームページからもダウンロードできます。
- 推薦調書に必要事項を御記入の上、必要資料を添えて、下記の総合支庁環境課まで郵送、電子メール又は持参により御提出ください。

【募集期間】

令和2年6月1日（月）～7月10日（金） 必着



【受賞者の決定】

外部有識者を含む「環境やまがた大賞選考委員会」による選考を経て、決定します。

なお、必要に応じ、県の担当職員が電話での問い合わせや実地訪問を行う場合がありますので、御協力をお願いいたします。

【表彰時期】

令和2年10月下旬予定



【受賞者のPR】

受賞された方々とその活動について、山形県ホームページやマスコミ等を通じて御紹介（PR）させていただきます。

●「環境やまがた大賞」ホームページ

山形県ホームページ（<http://www.pref.yamagata.jp/>）で、「環境やまがた大賞」と入力し、サイト内検索してください。

環境やまがた大賞

検索

●「環境やまがた大賞」に関するお問い合わせ先

山形県環境エネルギー部環境企画課 企画調整担当
電話：023-630-2308

●「環境やまがた大賞」推薦調書の御提出先

応募（推薦）対象者の住所（所在）地を所管する総合支庁に御提出ください。

村山総合支庁保健福祉環境部環境課 〒990-2492 山形市鉄砲町2-19-68
電話：023-621-8425

最上総合支庁保健福祉環境部環境課 〒996-0002 新庄市金沢字大道上2034
電話：0233-29-1285

置賜総合支庁保健福祉環境部環境課 〒992-0012 米沢市金池7-1-50
電話：0238-26-6035

庄内総合支庁保健福祉環境部環境課 〒997-1392 東田川郡三川町大字横山字袖東19-1
電話：0235-66-4744



[よくあるご質問]

Q1 企業は「環境やまがた大賞」の対象となっていないが、企業の顕彰はしないのか。 A 別に企業を対象とした、山形県環境保全協議会が実施する「山形県環境保全推進賞」制度があり、大賞には「山形県知事賞」が授与されます。 (参考) 山形県環境保全協議会ホームページ http://www.eny.jp/hozenkyo/	Q4 何年か前に応募したが、受賞には至らなかった。再度、応募してよいのか。 A 前回は応募時からさらに活動が発展・充実している場合又は別の取組みを行っている場合は、応募可能です。
Q2 学校は、学校全体の活動でなければ応募できないのか。 A 児童・生徒のクラブ活動や部活動の単位でも応募可能です。	Q5 過去に大臣表彰や知事表彰(環境やまがた大賞を含む)を受けたことがあると、応募できないのか。 A 直近の受賞時と比較し、活動の発展がみられる場合(同一の功績ではない部分がある場合)は、応募可能です。推薦調書に前回受賞から発展した点について記入してください。 評価の対象となる活動期間は、直近の受賞時から令和2年3月末日までとなります。 また、学校又は子どもが中心に活動を行う団体については、直近の受賞時から5年以上経過した場合は、同等の活動であっても、別の子どもの取組みとして応募可能です(選考過程では継続性も評価します。)
Q3 市町村が応募・推薦できるのか。 A 市町村が管内の個人・団体を推薦いただくことはもちろんのこと、自ら応募いただくことも可能です。第2回には、立川町(現庄内町)が受賞されています。また、これまで、市町村から数多くの御推薦をいただいております。 市町村におかれましては、積極的な御応募・御推薦をお願いいたします。	

[対象となる活動内容の事例]

◆地球温暖化を防止する低炭素社会の構築

- ノーマイカーデー、エコドライブの実施など二酸化炭素排出削減に向けた活動
- 学校や地域をあげた省エネルギー実践活動
- 森づくり等への参加、植林や森林保護などの活動

◆再生可能エネルギー等の導入による地域の活性化

- 風力、太陽光、太陽熱、バイオマスなどの環境負荷の少ないエネルギーの積極的利用



◆ごみゼロやまがた実現に向けた循環型社会の構築

- 過剰包装の自粛やマイバックの持参、環境に配慮した製品の購入などのグリーン購入によるごみ減量化活動
- リターナブル容器の利用などのリユース、生ごみ堆肥化などのリサイクル活動
- 「もったいない」をキーワードにした普及啓発、3R推進活動

◆豊かな環境を守り、活かす自然共生社会の構築

- 里山、森林、河川、海岸等の環境保全・美化活動
- 野生動物の保護管理活動、自然生態系の保護活動
- 良好な景観の保全や環境美化活動

◆安全で良好な生活環境の確保

- 低公害車の導入、バイオディーゼル燃料普及などの大気環境の保全活動
- 河川の水質悪化を防ぐ取組みなどの水環境の保全活動
- 化学肥料・農薬の使用の低減などの環境保全型農業の実施



◆環境教育を通じた環境の人づくり

- 環境保全団体の活動支援・指導、団体間の交流・ネットワークづくり支援活動
- 環境保全等に関する研修会、自然体験学習等の環境学習機会の提供
- 社会体験活動など地域の理解や地域づくりに関連づけた環境教育活動



[過去5回の受賞者]

◆第20回◆

《環境やまがた大賞》 【特定非営利活動法人 飯豊朝日を愛する会(小国町)】

～飯豊朝日連峰における登山道の補修
及び高山草原の復元～

官民協働で、登山により浸食を受けた登山道を補修し、消失した高山草原を復元する「合同保全作業」を行っており、その中で計画立案、参加者募集及び作業実施を担当し、保全活動を主導しています。



＜飯豊朝日を愛する会＞



＜森林インストラクター会＞

《環境やまがた大賞》 【山形県森林インストラクター会 (山形市)】

～「森と人をつなぐ」をテーマにした
体験・学習プログラムの提供～

自ら企画運営をする森林環境教育プログラムを開発し、これを運用し様々なアクティビティを提供しているほか、県内各地の幼稚園や小学校、地域団体等からの依頼により、森の案内や木材を使った体験学習の指導を積極的に行っています。

《環境やまがた奨励賞》 【やまがた自然エネルギー ネットワーク(東根市)】

◆第19回◆

《環境やまがた大賞》 【元泉地域農地・水・環境保全組織 運営委員会(河北町)】

田園の恵まれた環境を活かした環境教育活動
【助川 暢 氏(小国町)】
基督教独立学園高等学校及び周辺地域における環境整備ボランティア活動

《環境やまがた奨励賞》 【大久保地域元気な街づくり推進協議会 北山桜育成管理協力会(村山市)】

◆第18回◆

《環境やまがた大賞》 【東沢ホタルの会(山形市)】

ホタルの生息環境の保全と環境学習の取り組み

《環境やまがた奨励賞》 【手ノ子地区協議会里づくり推進委員会 さんさん部会(飯豊町)】 荒廃した元採草地を有効活用した里山整備活動

◆第17回◆

《環境やまがた大賞》 かねあい 【家根合生態系保全活動センター(庄内町)】

メダカ保全活動を中心とした地元小学校児童への環境教育活動

《環境やまがた奨励賞》 【やまがたヤマネ研究会(山形市)】 県内に生息する野生哺乳動物の調査研究と環境教育の取り組み

◆第16回◆

《環境やまがた大賞》 【中村湿原を守る会(真室川町)】

貴重な動植物が生息する中村湿原の保護活動と環境教育の取り組み



第15回以前の受賞者等の情報は、山形県ホームページを御覧ください。
<http://www.pref.yamagata.jp/>

環境やまがた大賞

検索